

## 2019-2020 ボブスレー競技 国際競技会派遣選手選考基準

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

### 【選考手続】

2019年-2020年ボブスレー競技国際競技会への派遣選手は、以下に定める選考基準（以下「本選考基準」という。）に基づいて公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟（以下「日本連盟」という。）競技委員会が選考し（以下「本選考」という。）、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て決定されるものとする。

### 【派遣対象競技会】

派遣対象競技会は、国際ボブスレー・スケルトン連盟（以下「国際連盟」という。）の開催する2019年-2020年シーズン（以下「今シーズン」という。）のEurope Cup（以下「EC」という。）の第1戦から第8戦までとする。また、ポイントの獲得状況によってはWorld Cup（以下「WC」という。）世界選手権の参戦もあり得る。

※ 今シーズンのECにおける日本の派遣枠数は、男子4、女子4である。

### 【基本方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待でき、日本連盟が「2022年北京五輪に向けたボブスレー競技選手選考計画」において掲げる北京五輪での目標を達成できる可能性を有する選手又は2026年開催五輪で活躍が期待される次世代を担う有望な選手を選考する。
2. 「日本連盟登録競技者・スタッフ行動規範」を遵守し、日本連盟を代表するに相応しい選手を選考する。

### 【評価対象記録会】

本選考における評価対象記録会は次のとおりとする。

1. 2019年全日本プッシュボブスレー選手権大会（以下「プッシュ大会」という。）

日時：令和元年8月3日（土）13：00～16：00

場所：長野市ボブスレーリュージュパーク（スパイラル）

2. 2019年コンバインドテスト（以下「コンバインドテスト」という。）

種目：①15m スプリント、②30m スプリント、③45m スプリント、④30m 加速走

⑤立ち幅跳び、⑥フロントスロー、⑦スクワット、⑧ハイクリーン

（※今年度からフロントスローの重量を7kgから5kgへ変更する）

日時：令和元年9月12日（木）10：00～16：00

場所：長野運動公園総合運動場 陸上競技場、長野市ボブスレーリュージュパーク（スパイラル）

※傷病等の理由によりプッシュ大会又はコンバインドテストに参加できなかった選手については、日本連盟の強化部で審議の上、別日に再テストを行うことがある。

## 【選考基準】

### 1. 女子選手

- I. パイロットについては、プッシュ大会で計測される 1 人押しプッシュタイム及びコンバインテストの各種目の記録を得点表（別紙参照）に基づき換算した合計得点を優先的な考慮要素とし、過去の大会実績や滑走実績を勘案して、ヘッドコーチが総合的に考慮して選考する。
- II. ブレーカーについては、プッシュ大会で計測される 1 人押しプッシュタイム及びコンバインテストの各種目の記録を得点表（別紙参照）に基づき換算した合計得点を優先的な考慮要素として、上位の者から順に選考する。
- III. モノボブについては、プッシュ大会で計測される 1 人押しプッシュタイム及びコンバインテストの各種目の記録を得点表（別紙参照）に基づき換算した合計得点を優先的な考慮要素とし、過去の大会実績や滑走実績を勘案して、ヘッドコーチが総合的に考慮して選考する。

### 2. 男子選手

- I. パイロットについては、プッシュ大会で計測される 1 人押しプッシュタイム及びコンバインテストの各種目の記録を得点表（別紙参照）に基づき換算した合計得点を優先的な考慮要素とし、過去の大会実績や滑走実績を勘案して、ヘッドコーチが総合的に考慮して選考する。
- II. ブレーカーについては、プッシュ大会で計測される 1 人押しプッシュタイム及びコンバインテストの各種目の記録を得点表（別紙参照）に基づき換算した合計得点を優先的な考慮要素として、上位の者から順に選考する。

## 【派遣に関する制限】

本選考基準に則り選出された選手であっても、以下の場合には、国際競技会への派遣が制限され又は取り消される。

1. 国際連盟による各派遣対象競技会の出場資格を満たさない場合
2. 病気又は怪我により競技に著しく支障があると認められる場合
3. 法令又は「日本連盟登録競技者・スタッフ行動規範」に違反し、日本連盟を代表するに相応しくないと認められる場合

以上